

私にとってのスポーツの価値

鹿児島県立加治木高校 2年 久木崎かりん

私にとってのスポーツの価値。それは、「繋がる」ことができるということだ。スポーツは、様々なものを私と繋げてくれる。

まずは仲間と。団体競技はもちろんだが、個人競技であっても、共に汗を流し、きつい練習を乗り越えたり、負けの悔しさを味わったり、勝った喜びを分かち合ったりした仲間との絆は特別のものになる。

そして対戦相手と。たとえプレー中は敵でも、始まりや終わりにお辞儀や握手などをして相手を尊重するのは、きっとどの競技にも共通することだと思う。相手なしではスポーツは成り立たないし、勝負の結果がどうであれ、相手から学ぶことも多いはずだ。世界的に有名な選手も、実はライバルと仲が良いというのはよく聞く話だ。

それから、応援してくれる人と。家族であったり、友人であったり、恋人であったり、ファンであったり、はたまた、全然見知らぬ人であったりするかもしれないが、スポーツをする人にとってその存在は大きい。私自身も応援してくれる人がいると、いつも以上の力が出るし、応援するときは自分も一緒に戦っているような気持ちになる。

もっともっと広い繋がりも、スポーツはもたらしてくれる。例えば、鹿児島に住む人々と、日本と、さらに世界と。高校総体や国体、オリンピック・パラリンピックなどが開催されると、そのことがよくわかる。所属している地域も、都道府県も、国も関係なく盛り上がり、スポーツをする人も、応援・観戦する人も、また、その大会を色々な形で支える人も、みんなが一つになる。言葉や宗教、考え方、立場が違ってても、一緒に楽しめる。これは、スポーツの最大の魅力であると思う。

そしてもう一つ。自分の将来にも繋がるのがスポーツだ。勝つために地道な努力を続けた経験は、目標を達成するまでの困難に耐える力となるかもしれない。スポーツを通じて出会った相手が、一生を大きく変えるかもしれない。懸命にプレーする姿を応援し、そのときの感動が、諦めそうな自分を励まし、背中を押してくれるかもしれない。大会の運営に携わり学び得たことが、就いた仕事で活かされ、その力を発揮できるかもしれない。スポーツが多方面で可能性を広げてくれることは確かだ。

来る 2019 年には南部九州総体がそして 2020 年にはかごしま国体・かごしま大会、東京オリンピック・パラリンピックが開催される。これらの大きなスポーツ大会を通して、たくさんの「繋がり」が生まれることを期待すると同時に、開催地に住む一人として、自分に何ができるかを考え、自分らしい形で繋がりたい。

(学年は平成 30 年度時点)